

第59回岡山県総合バスケットボール選手権大会

日 時	2013年10月20日(日)	女子	決 勝
会場名	中山運動公園体育館	(B)コート	

環太平洋大学 104	$\left\{ \begin{array}{l} 28 - 15 \\ 27 - 20 \\ 27 - 14 \\ 22 - 11 \end{array} \right\}$	60 ELEVEN
------------	--	-----------

審判名	主 審	副 審	
-----	-----	-----	--

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
谷川 明穂	4	14	1	4	3	2	菅野 千尋	5	18		8	2	4
薬師寺 伶	5	0				1	丹下 真帆	6	18	2	6		2
柴倉 美幸	6	5	1	1			大塚 千愛	7	10	2	2		1
山田 真帆	7	3		1	1	1	木村 文子	8	0				
内野 夏実	8	8	2	1		1	秋山 香奈子	9	0				
三澤 里歩	9	2		1			川原 美幸	10	0				
枘谷 美涼	10	6		2	2	1	菊本 美祐貴	11	0				
勝山 果歩	11	10		4	2		澤田 晴菜	12	0				1
二宮 瀬莉奈	12	17	3	4			田上 理賀	13	3	1			1
前田 奈々	13	2		1			佐藤 唯	14	8		4		2
八木 柚香	14	11	1	4			佐野峯 彩香	15	0				
岩本 はる菜	15	0					藤原 こころ	16	3	1			1
新垣 楓	16	0				2	原 絵美	17	0				
時任 由依	17	12		6			菅 晴香	18	0				
中島 麻紗子	18	0											
高岡 優	19	0											
宮川 瞳	20	14		6	2	2							
筒井 悠月	29	0											
合 計		104	24	70	10	10	合 計		60	18	40	2	12

戦 評

スピードのあるIPUと、試合巧者のELEVENの対戦となった。

1Q 出だし、IPUは2-1-2ゾーン、ELEVENはマンツーマンで始まる。IPUは、開始早々#12が3Pを決める。その後、#12ドライブ、#11が速攻からゴール下を決める。ELEVENは、#14が速攻、#6や#7が3Pを決めるが、IPUも#12や#6の3Pなどで反撃。ELEVENタイムアウト後、IPUはゾーンの当たりを強めるが、ELEVENは#14や#5のゴール下を決めていく。IPUは、#20のランニングプレーを機に、2-2-1のゾーンプレスがかかりだし、#20のドライブや#4がフリースローを3本すべてを決めるなどし、IPU28-15ELEVENで1Q終了。

2Q IPUは、#14の速攻、#12も3Pを決めるが、ELEVENも#14がリバウンドを頑張り、ステップシュートを決め#5も合わせのプレーなどで反撃する。その後、IPUは#12がゴール下、#14もランニングシュートを決め、42-25としELEVENタイムアウト。ELEVENは、その後#13や#16が3Pを決めるが、IPUは#11や#14がミドルや3Pを決め、残り10秒切ったところで#13から#11への合わせのプレーが決まり、IPU55-35ELEVENで2Q終了。

3Q IPUは、#13から#4へのコンビプレーや#4のミドルなどで差を広げる。ELEVENも、#6のミドルや#5のリバウンドシュートで応酬するがゾーンを攻めきれず、#14が速攻の出だしにアンスポをとられ、IPUの#20がフリースローを2本決め、スローインからの攻撃も#20がゴール下を決める。対してELEVENは、#7の3Pやパスカットで反撃するも、IPUは控えの#17がポストプレーを次々と決め、IPU82-49ELEVENで3Q終了。

4QになってもIPUの有利は変わらず、#20がゴール下、#17がスチールからランニングシュートを決めるなど差を広げていく。ELEVENは、#6が3P、#5がゴール下を頑張るなどしたが、IPU#17のスチールや#8の3Pなどで反撃の隙を与えない。ELEVENは、タイムアウト後#6がゴール下を決めるが、IPUも控えの#9や#10がゴール下や合わせのプレーでリードを広げ、最後に#8が3Pをブザービーターで決め、IPU104-60ELEVENでIPUが6年連続6回目の優勝を決めた。